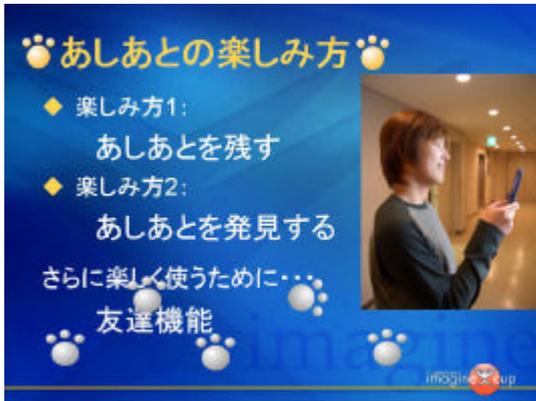


資料 IV . 大岩研でのソフトウェア開発プロジェクト

大岩研では、「人を幸せにするソフトウェアの開発」をテーマに 5 年以上に渡り、第 3 者が使うことを前提としたソフトウェアを、学生主体のプロジェクトとして行なってきた。下記に、代表的な 2 つのプロジェクトの概要の紹介をする。

あしあとプロジェクト



あしあとプロジェクトは 2004 年度秋の大岩研の学生 4 名のプロジェクトで、携帯電話についている GPS 機能を利用して、あなたが現在いるその場所に思い出や発見を書き残し、その場所に誰かが書き残した思い出や発見を見つけてくれる、携帯電話のアプリケーションである。

あしあとシステムはマイクロソフト社が主催する学生ソフトウェアコンテスト Imagine Cup 2005 で見事に 3 位に入賞した。



「世に問うことの重要性を感じた」と語ってくれたのは、慶應義塾大学チームです (写真7)。ふだんはソフトウェアを開発しても、研究の一環として学内で発表して終わりというのが常です。しかし、こうしてコンテストに出場すれば、客観的な評価が得られることがわかったのは大きかった、と武田林太郎さん。今後は自分たちがこういう発表の場を主催して、学内の研究成果を世に問うことも考えてみたいとのこと。うん、それはいいことではないでしょうか。

「あしあと」入賞の記事(日経ソフトウェア 2005 年 6 月号より)

IRC プロジェクト

IRC(Inter-active Reading Community)システムは、前 SFC 英語講師の水野邦太郎氏とのコラボレーションにより、大岩研究会で開発した Web アプリケーションである。IRC は水野氏が行う英語の多読教育をサポートするため、学生同士が読んだ本の紹介やコメントをつけることの出来るシステムで、実際に S F C や上智大学の授業で学生に利用されている。



IRC システムの Web ページ (<http://irc.crew.sfc.keio.ac.jp/irc/>)